

鳥取県病原微生物検出情報

(令和 8 年 6 月検出分 検体採取 令和 8 年 5 月及び 6 月)

令和 8 年 7 月 17 日
鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体 41 件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A 型及び B 型、パラインフルエンザ 1-4、RS-A 型及び B 型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナ NL63、コロナ OC43

○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

○検出結果

41 件中 32 検体（78%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：18 件、ボカ：10 件、ヒトメタニューモ：11 件、SARS-CoV-2：2 件、パラインフルエンザ 1 型：1 件、アデノ：2 件、エンテロ：1 件であった。令和 8 年 1 月から令和 8 年 6 月検出分と合わせた年齢別検出数は表 1 のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表 1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和 8 年 1 月～6 月検出分）

病原体年齢別検出数（6 月検出数/累積）																
年齢	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤		合計	
標本数	19	140		10		10	5	28	5	42	7	58	5	28	41	316
ライノ	12	78		3		1	3	9	2	9	1	11		1	18	112
ボカ	10	24		1											10	25
ヒトメタニューモ	6	7					1	2	2	2	2	3	1	1	11	14
RS-A		4									1			3		8
RS-B		4							1		2			4		11
SARS-CoV-2	1	4							2	1	10			6	2	22
パラインフルエンザ 1		1					1	1							1	2
パラインフルエンザ 2																
パラインフルエンザ 3		1									1					2
パラインフルエンザ 4				1												1
アデノ	2	15									1				2	16
エンテロ									1	1					1	1
インフルエンザ A 型		6		2		2		3		3		2		1		19
インフルエンザ B 型		3		4		4		4		3		5		1		24
コロナ NL63		7								2		1				10
コロナ OC43		21						4		5		6		2		38
マイコプラズマ								1								1
検出せず	1	19		1		3	1	6		14	3	18	4	9	9	70

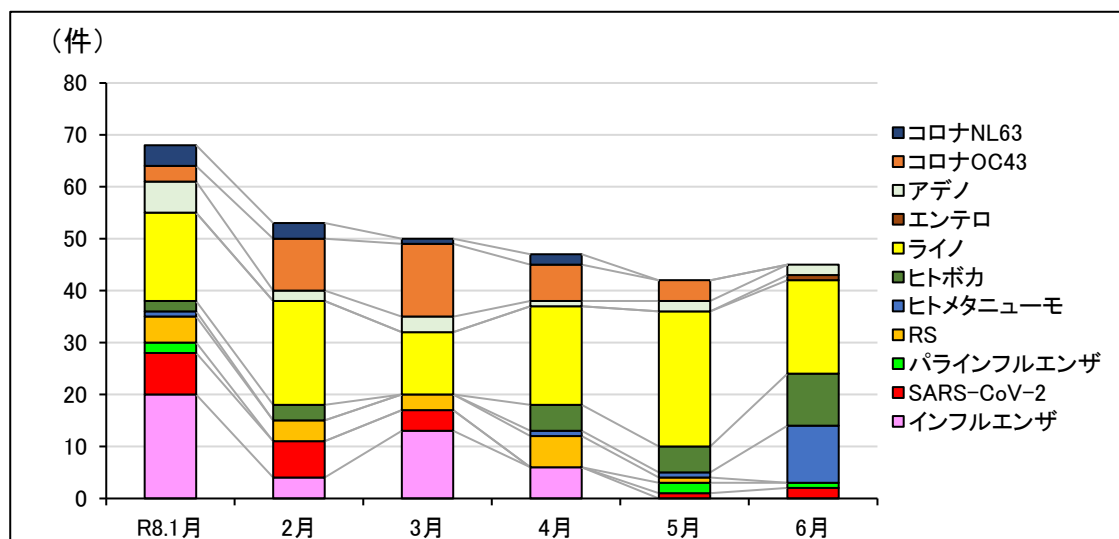


図 1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況（令和 8 年 1 月～6 月検出分）

アデノウイルスの 2 件について、C 種 1 型が 1 件、C 種 6 型が 1 件であった。C 種 1 型及び 6 型は、急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

SARS-CoV-2 の系統は表 2 及び図 2 に示すとおり、RC. 1 が 1 件、SS. 2 が 1 件、RS. 1 が 1 件であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB. 1. 8. 1 系統の亜系統（RC. 1 等）が減少し、BA. 3. 2 系統の亜系統（SS. 2 や RS. 1 等）が増加している。

表 2. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 8 年 6 月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R8. 5. 7	80 歳以上	RC. 1
R8. 5. 30	10 歳未満	SS. 2
R8. 6. 19	60 代	RS. 1

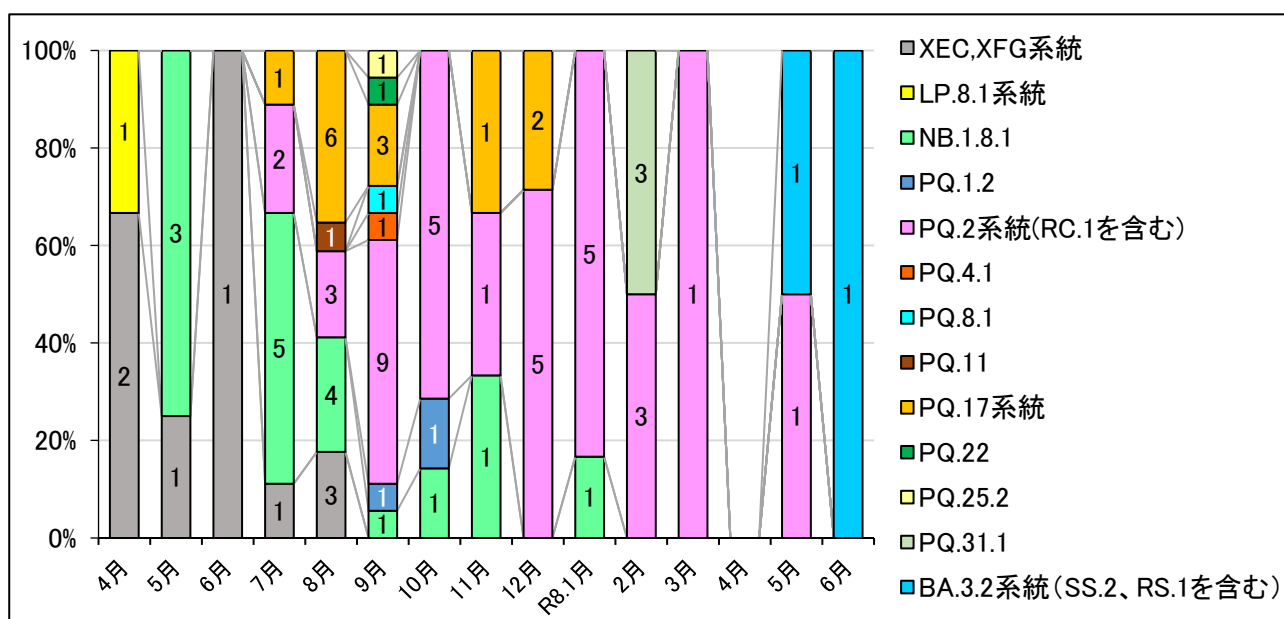


図 2. 月別 SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 7 年 4 月～令和 8 年 6 月検出分）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の 8 件について検査を行ったところ、ノロウイルス GⅡ が 2 件検出された。遺伝子型は GⅡ.P16-GⅡ.4 が 1 件、GⅡ.3 (polymerase 領域不明) が 1 件であった。アデノウイルスは感染性胃腸炎の原因ウイルスとされる F 種 41 型が 1 件検出された。この他アストロウイルスが 1 件検出された。

3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の 10 件について検査を行ったところ、A 群溶血性レンサ球菌が 4 件 (T 型別 13 型 : 1 件、T 型別不明 : 3 件) 分離された。13 型は咽頭炎で検出される型である。

4 R S ウイルス感染症

臨床診断名が R S ウイルス感染症の 2 件について検査を行ったところ、A 型が 1 件、B 型が 1 件検出された。症状は発熱、咳嗽、鼻汁があり、B 型 1 件については下気道炎、気管支炎もあった。

5 手足口病

臨床診断名が手足口病の 2 件について検査を行ったところ、エンテロウイルスの CA6 型が 2 件検出された。CA6 型は手足口病の原因となるウイルスである。

6 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの 1 件について検査を行ったところ、エンテロウイルスは検出されなかった。